



将来の生活形成につながる支援

園長 山下勝弘

国の児童福祉政策が変更され、白河めぐみ学園・白河こひつじ学園の利用期間が満18歳までと決定され、すでに実施されています。2020年度にこれに該当する児童は、白河めぐみ学園で8名、白河こひつじ学園で4名で、職員はこれらの児童の退園後の望ましい生活の場を確保するために、最大の努力をするとともに、心を痛めた日々が続きました。

卒園する児童たちは、新しい生活に希望を持っています。しかし、現実には必ずしも児童が期待する十分な生活環境が準備できたという状況ではありません。特に家族と生活する条件が十分でない児童の場合は、深刻です。

児童はそれぞれに、望み願っている生活があります。しかし、児童が願っている新しい生活環境を十分に準備できない現実があります。その結果、緊急避難的に、児童が望まない生活の場、場合によっては適切でない生活の場に移行する状況が、残念ながら発生することも否定できません。

児童から成人として社会生活に参加する最初の段階で、この事態は大きな影響をその後の児童の生活形成にあたえてしまいます。一生涯の生活形成に決定的なひずみと負担を与えたと思われる事例も、存在しています。

わたしたちは、児童が直面する新しい生活環境に適応し、自分自身でその可能性を広げることができるように、児童に必要な社会資源充実をはかり、支援する働きを具体的に拡大しましょう。



送別会



3月3日、3月26日に送別会が行なわれました。学園生活を振り返る写真スライドを観たり、おいしいケーキを食べて、お祝いしました。懐かしい写真もたくさんできてきて、皆思い出に浸っていました。卒園生のみなさんはこれからも自分らしく元気に頑張ってください。

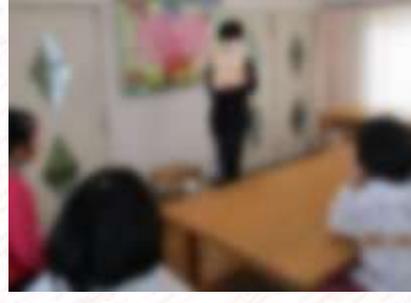
HAPPY BIRTHDAY

1月、2月、3月のそれぞれの月に誕生会を行いました。みんな素敵なプレゼントをもらって喜んでいました。会食では楽しい雰囲気ケーキを頂きました。



バレンタインデー

ホワイトデー



今回はコロナウイルスの影響ため、購入したおやつを1つ1つ丁寧に袋に詰めメッセージカードと一緒に渡しました。2月14日のバレンタインデーにまつわる劇を鑑賞したり、3月14日のホワイトデーは、紙芝居を聴きました。その後に皆で美味しいおやつを頂きました。



苦情解決委員会

子どもたちの生活や環境、職員の対応などについての苦情を受け付け、解決に取り組めます。お気軽にご相談ください。

また、牧人会の苦情解決第三者委員会も設置されています。苦情受付箱「みんなのこえ」への投書や受付窓口などに直接相談するほか、第三者委員に相談することもできます。

